

RTC Builder - バグ #1499

Python用のコード生成で使用するomniORBpyのバージョン

2010/05/18 14:53 - kurihara

ステータス:	終了	開始日:	2010/05/18
優先度:	通常	期日:	
担当者:	ta	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
<p>説明</p> <p>サービスポートを持つRTCのPython用のコード生成を行う場合、_GlobalIDL/__init__.py、_GlobalIDL__POA/__init__.pyの記述内容がomniORBpy-2系用になっている。</p> <p>以下は、_GlobalIDL/__init__.pyの内容</p> <pre># DO NOT EDIT THIS FILE! # # Python module _GlobalIDL generated by omniidl # ** 1. Stub files contributing to this module import MyService_idl # ** 2. Sub-modules # ** 3. End</pre> <p>自分の環境(omniORBpy-3.4)にて再度同じIDLファイルをomniidlにてIDLコンパイルした場合は、__init__.pyは下記ようになる。</p> <pre># DO NOT EDIT THIS FILE! # # Python module _GlobalIDL__POA generated by omniidl import omniORB omniORB.updateModule("_GlobalIDL__POA") # ** 1. Stub files contributing to this module import MyService_idl # ** 2. Sub-modules # ** 3. End</pre> <p>(RTCBにて生成時に、omniORBpy-2.7のidlコンパイラが使用されている???)</p> <p>omniORBpy-2系の__init__.pyでは、"MyService_idl"だけをimportするのに対し、omniORBpy-3系の__init__.pyでは、"omniORB.updateModule("_GlobalIDL__POA")"というのが追加されているため、omniORBpy-3系がインストールされている環境では、RTCBで生成されたコードを実行するとエラーとなる。</p> <p>[環境]</p> <p>OS: WindowsXP Eclipse: 3.4.2 Java: 1.6.0_17 RTSE,RTCB: dailybuild r114</p>			
関連するチケット:			
関連している RTC Builder - 機能 #1525: [Python] IDLコンパイルが必要なRTCの場...		終了	2010/05/24

履歴

#1 - 2010/05/18 19:38 - ta

- ステータス を 新規 から 担当 に変更

- 担当者 を ta にセット
- 進捗率 を 0 から 10 に変更

RTCBでは、omniORBpyのidlコンパイラで生成したコード情報を基に、独自のテンプレートを作成し、使用しています。
生成コード全てに、
import omniORB
omniORB.updateModule("_GlobalIDL_POA")
を追加する形で修正すればよろしいでしょうか？

#2 - 2010/05/19 16:07 - kurihara

omniORB.updateModule()が必要かどうかは、RTCを実行する環境のomniORBpyのバージョンに依存します。

omniORBpy-2系(2.7等)の場合、omniORB.updateModule()があると実行時にエラーになりますし、
逆に、omniORBpy-3系(3.0,3.1,3.4等)の場合は、omniORB.updateModule()がなければ実行時エラーとなります。

なお、_GlobalIDL_POAというキーワードについては、IDLコンパイルを行う対象のIDLファイル内で、module名が例えば、SimpleServiceと定義されている場合は、SimpleService,SimpleService_POAとなりますし、moduleが定義されていない場合は_GlobalIDL_GlobalIDL_POAとなります。

また、_GlobalIDL_GlobalIDL_POAというフォルダも作成されておりますが、これも、モジュールが定義されている場合は、SimpleService,SimpleService_POAというフォルダが作成される必要があります。

#3 - 2010/05/19 20:24 - ta

IDLファイル内のmodule名につきましては、RTCBの中でパースを行っておりますので取得可能です。
キーワードおよびフォルダの名称につきましては、こちらの情報を基に出力するように修正させていただきます。

omniORB.updateModule()が必要かどうかは、RTCを実行する環境のomniORBpyのバージョンに依存します。

こちらのお話につきましては、どのような仕様と考えればよろしいでしょうか？

#4 - 2010/05/20 18:28 - kurihara

スタブ・スケルトン(今回の場合、SimpleService,SimpleService_POA,MyService_idl.py)はRTCBでは生成せずに、RTCのユーザーがidlコンパイルを行うという事になりました。
IDLで定義したインターフェースの実装クラス(MyService_idl_example.py)はこれまで同様、RTCBにて生成するようにお願い致します。

#5 - 2010/05/21 15:59 - ta

- ステータス を 担当 から 解決 に変更
- 進捗率 を 10 から 100 に変更

修正させていただきました

#6 - 2010/05/24 16:27 - kurihara

- ステータス を 解決 から 終了 に変更

変更されている事を確認しました。([r120](#))
このチケットは、クローズします。